

患者番号:

患者氏名:

様

# 腰椎後方手術の入院日程表

受持医:

月/日	入院～手術前々日	手術前日	手術当日		手術後1日目	手術後2日目	手術後3～10日目	手術後11日目～退院
	～		手術前	手術後			～	～
検査 治療 処置		必要があれば除毛や爪切りを行います	手術着に着替えます ストッキングを履きます	手術後、酸素吸入をします（時間は麻酔科の指示により異なります） 傷から排液を促す管が入っています 血栓予防の機械が足についています	採血（1・3・7・14日目）、レントゲン撮影（7・14日目）を行います		9日目にフィルム材を取ります	
点滴 注射 内服	飲んでいる薬を確認します		普段服用している薬があれば別紙（薬の服用中止指示説明用紙）に沿って服用してください 食べたり飲んだりできないので点滴をします 手術直前に抗生剤の点滴を行います	抗生剤の点滴2回を行います 痛みに応じて坐薬・注射の鎮痛剤を使用できます	抗生剤の点滴を行います 鎮痛剤の内服を開始します	抗生剤の点滴を行います		
食事	患者さんの状態により食事を出します	夜9時以降何も食べないで下さい 水、お茶は飲んでかまいません	朝から何も食べないで下さい 手術の3時間前まではお水・お茶が飲めます。時間は看護師が説明します		朝から食事を再開します			
活動 リハビリ	自由 入院時の持ち物 入院時のしおりを参照ください。 ※術後用飲料水とストローがあると便利です 寝衣・タオルはレンタル可能です タオルをレンタルしない場合は手術日にバスタオル1枚をご準備ください オムツをレンタルしない場合は手術日にテープ式オムツを3枚をご準備ください ※当院購入のオムツについて売店では購入した際のレシートがあれば、未使用のオムツ等の返金は可能となります 寝衣をレンタルしない場合は前開きの衣類を持参ください ○入院前にマニキュア、ペディキュアなどは除去してきてください		手術後はベッド上安静です（看護師が体位を変えます）	膀胱内に尿管が入っています	看護師つきで歩行器を使って歩くことができます（歩行状態が安定していれば徐々に単独での歩行も可能になります）	傷口がガーゼからフィルム材に変更できれば尿管を抜くことができます		入院前の歩行状態となり医師から許可が出れば退院可能です
清潔	自由	シャワーまたは体を拭きます			適宜、体を拭きます	傷口がガーゼからフィルム材に変更できればシャワー浴が行えるようになります		
説明 指導	手術前日までに麻酔科外来を受診します（ / ）	薬剤師が訪問します	貴金属・指輪・時計・入れ歯・コンタクトレンズ・メガネ・ヘアピン等は必ずして金庫内に入れてください 手術室の看護師が訪問します		麻酔科医が訪問します 退院後、38度以上の発熱が続くようなら以下に連絡してください 緊急連絡先：練馬総合病院 03-5988-2290		退院先を決めてください <退院後の生活について> ・コルセットは医師から指示があるまでは装着してください。 ・腰を過度に曲げたり、重い荷物を持つことは避けてください。 ・特別にリハビリは必要ありませんが、毎日歩くようにしてください。	